

# 令和4年度分 自己評価・学校関係者評価報告書

令和5年3月25日

学校法人湯目学園  
開進幼稚園

## 1 本園の教育目標

明るく健康で、だれからも愛され、どんな困難に直面しても負けないで新しい時代を切り開いていける心豊かなたくましい人間に育てる。

## 2 本年度重点的に取り組む目標・計画

「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を念頭に、未来を生きる全ての子どもたちの豊かな心と体を育む環境づくりを大切にして、より質の高い幼児教育の実践を目指す。

## 3 評価項目の達成及び取り組み状況

保護者調査集計（別紙1）を参考に以下の項目について自己評価を実施。

	評価項目	評価	取り組み状況
1	本物に触れ自発的で深い学びが得られる環境整備	B	色水遊びやハーバリウム、食育プログラムなど、保育者が園内の自然素材を生かし、五感を刺激して幼児の興味の幅が広く深くなるよう意識して取り組んだ。
2	コロナ禍の中でも、工夫を凝らした保育の充実	A	感染症対策により使用できなかった鍵盤ハーモニカをミニキーボードに変更して楽器あそびや合奏を体験。園外お泊り保育で実施予定だったマスのつかみ取りを園内で実施するだけでなく、串刺しにした炭火による塩焼きを他学年も見学することができた。
3	満3歳児クラスの保育の質向上と内容の見直し	B	講師がひとりひとりの個性を尊重し、反応をみながら楽しく参加できるよう工夫をすることで、年間をとおして英会話指導やリトミックに興味をもって参加することができた。

評価（A:十分に成果があった B:成果があった C:少し成果があった D:成果がなかった）

#### 4 総合的な評価結果

保護者調査項目の、問3「園の活動において子どもの教育や心身の発達に役立っているか」、及び問4「園の活動において子どもが興味や関心をもって行えるものになっているか」について、高い評価を得られていることから、コロナ禍の中であっても可能な限り本物に触れる体験をとおして、保育の充実を図ることができたのではないかと考えられる。一方、満3歳クラスについては、コロナウィルス感染対策により、行事の際など年少以上に参加を制限せざるを得ない場合があり、やむを得ないとはいえ、他に最善の方法はなかったか精査する必要はある。

#### 5 今後取り組む課題

- (1) より豊かな植栽と効果的な活用、維持管理について
- (2) ウィズコロナ・アフターコロナを意識した食育活動の充実
- (3) ヒヤリハットや見守りカメラを活用した安全対策の強化

#### 6 学校関係者評価委員会の評価

- ・「まきば広場」や「冒険の丘」、「大型総合遊具」など、四季を感じられ、運動機能向上にも配慮された園庭環境への満足度は高い。
- ・通年をとおして漢字を取り入れた保育や英会話指導、リトミック指導、プール・体育遊びなど、バランスのとれた保育内容に加え、課外教室も充実している。
- ・自園給食が美味しくてお米作りや食育にも力を入れている。献立表だけでなくブログなどに給食の写真を掲載していただくと、園バス利用の家庭でもイメージが沸き、子どものリクエストにも応えやすい。
- ・「子どもたちの貴重な経験」のために、どのような状況でも常に全力で妥協しない園長の熱い思いが感じられる。コロナによる制限が緩和される今後にさらに期待したい。

## 開進幼稚園 利用者調査集計結果

(回答者世帯数 132/177 令和5年3月1日現在)

	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答/ 非該当	合計
問1. 園運営の基本的な考え方(理念・方針)をご存じですか	92 69.7%	31 23.5%	8 6.1%	1 0.8%	132 100.0%
問2. 子どもが遊び足りなかったり、疲れすぎたりすることなく、園で過ごせていると思いますか	112 84.8%	20 15.2%	0 0.0%	0 0.0%	132 100.0%
問3. 園での活動は、子どもの教育や心身の発達に役立っていると思いますか	130 98.5%	2 1.5%	0 0.0%	0 0.0%	132 100.0%
問4. 園での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか	127 96.2%	5 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	132 100.0%
問5. 提供される食事・おやつは、子どもの状況に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	120 90.9%	10 7.6%	2 1.5%	0 0.0%	132 100.0%
問6. 戸外遊びや行事などにより、子どもが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか	114 86.4%	15 11.4%	2 1.5%	1 0.8%	132 100.0%
問7. 保育時間の変更が急ぎよ必要になった場合、開園時間内において、園の可能な限り、柔軟に対応されていると思いますか	113 85.6%	13 9.8%	1 0.8%	5 3.8%	132 100.0%
問8. 安全対策が十分取られていると思いますか(園内外の安全管理、不審者対応、緊急時の対応など)	111 84.1%	16 12.1%	4 3.0%	1 0.8%	132 100.0%
問9. 行事や参観・保護者会などの園が実施する活動に、保護者が参加しやすい工夫(日程調整など)がされていると思いますか	105 79.5%	19 14.4%	3 2.3%	5 3.8%	132 100.0%
問10. 子どもの気持ちや様子・子育てなどについて、職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか	118 89.4%	13 9.8%	1 0.8%	0 0.0%	132 100.0%
問11. 園内は清潔で整理、整頓された空間になっていると思いますか	121 91.7%	10 7.6%	1 0.8%	0 0.0%	132 100.0%
問12. 職員の接遇・態度は適切だと思いますか	119 90.2%	11 8.3%	2 1.5%	0 0.0%	132 100.0%
問13. 在園中の発熱やケガなど、お子さんの体調変化への対応(処置・連絡など)は、十分されていると思いますか	121 91.7%	9 6.8%	2 1.5%	0 0.0%	132 100.0%
問14. いさかひやいじめ等子ども同士のトラブルがあった場合の職員の対応は、信頼できますか	100 75.8%	24 18.2%	1 0.8%	7 5.3%	132 100.0%
問15. あなたは、職員が子どもの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか	117 88.6%	15 11.4%	0 0.0%	0 0.0%	132 100.0%
問16. あなたや子どものプライバシー(他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと)を職員は守ってくれていると思いますか	111 84.1%	15 11.4%	0 0.0%	6 4.5%	132 100.0%
問17. 子どもの教育・保育内容に関する説明は、わかりやすいと思いますか	116 87.9%	15 11.4%	1 0.8%	0 0.0%	132 100.0%
問18. 園は、不満に思ったことや要望を伝えたと、きちんと対応していると思いますか	108 81.8%	19 14.4%	1 0.8%	4 3.0%	132 100.0%
問19. 園のことで困ったときに、職員以外の人(役所や第三者委員など)にも相談できることを、園はわかりやすく伝えてくれていますか	53 40.2%	52 39.4%	18 13.6%	9 6.8%	132 100.0%

令和5年3月25日  
学校法人湯目学園  
開進幼稚園

## 令和4年度 教育水準向上に向けた取組み実施報告

### 【英会話指導】

英語を母国語とするネイティブな外国人講師による英会話指導を、満3歳～年長の各クラスにおいて、週に1回程度、年間を通して実施したことで外国や言葉、文化など興味の幅を拡げることができた。クリスマス会などのイベントの際も、簡単な英語の歌詞とともに歌や踊りを表現し、こどもたちが楽しみながら英語に触れる姿が見られた。今後も継続していくことで幼時期だからこそ聞き分けられる微妙な発音の違いを耳で感じ、外国人や外国文化にふれながら、積極性と国際感覚を育んでいきたい。

### 【花育】

通年をとおして彩られる園庭の花壇や、月毎に装飾される園舎内の生花、クリスマスリースやスワッグ、その他季節もののドライフラワーなどに日常的に本物に触れることで、色彩の変化を楽しんだり、季節を感じたり、香りや匂いに敏感になったり、美しさに感動する姿が見られた。朝顔やオシロイバナなどを使った色水遊びでは、実験する喜びや発見など科学的興味が見られ、11月のハーバリウムづくりでも創造性や豊かな感受性を垣間見ることができた。その他自然素材を保育材料として活用することで、自然に対する関心が高まったように感じた。

### 【リトミック・楽器あそび】

年間を通じ、ピアノのリズムや音楽にあわせて体で表現するリトミックや楽器あそびの指導を実施。特にリトミックでは興味があるがゆえに集中して臨む姿が見られ、音感リズム感など感覚が研ぎ澄まされるだけでなく、保育活動全般における集中力も向上した。運動会の鼓笛やお遊戯会の合奏は、練習時に周囲と呼吸を合わせることの難しさに戸惑っていたが、この経験により協調性が高くなり、一つのシンフォニーが誕生する喜びを感じているようだった。また、クリスマス会のミニコンサートや、年度末のプロのアーティストによる生演奏や音楽劇など、本物の芸術に触れることで、さらに音そのものへの興味が増し、多彩かつ表現豊かな音楽の世界を知るきっかけになったのではないかと感じた。